

親子聖書日課

NO.1865 2024.6/23-29

名前

[日]主は全ての人をご自身に似せて造られましたから、誰をも愛しておられます。その中でも、特に主を畏れる人には目を注がれ、永遠の命を与えて下さるのです。私達の周りには、主の愛を知らない人が沢山いますから、主の愛を伝えましょう。

[月]料理番組は、どれほど美味しく見えても、味は伝わってきません。料理は自分の舌で味わってみて、初めてわかるものです。主の恵みも同じです。聞いているだけではわかりません。「味わい、見よ」主を受け入れて、救いを味わうことです。

[火]誰かと言い争いになったら、この詩を思い出し、主に祈ってみて下さい。すると、敵の正体がはっきりします。本当の敵はサタンです。サタンは姿を変えて攻めて来ますから、一人では歯が立ちません。主の大能の力で、助けてもらいましょう。

[水]罪の恐ろしさは、人の心の奥底から語りかけ、心を金縛りにして、悪に引きずり込みます。善を行うことに関心をもち、悔い改めに用いられる「床の上」で不法を働きます。自分の力では罪は解決できません。主の力を切に求めましょう。

[木]主に信頼し、自分の歩みを一步一步主に委ねる時、主は私達の願いを適えて下さいます。そのために、御言葉を「信仰の糧」として頂き、誠実に御言葉に従うことです。又、「この地に住み着き」上尾教会の一員として、教会を共に担うことです。

[金]神が罪を指摘される時、矢のようにグサツと打ち込みます。そうでもしないと、罪の痛みを感じないからです。矢を抜く時(罪の告白)は大変痛みを伴いますが、抜いた時の爽やかさと安らぎは大きいのですから、恐れずに、罪を告白しましょう。

[土]人生長く生きたとしても、神から見れば「手の幅ほどのもの」に過ぎませんから、あくせく生きる必要はありません。永遠の命を与えて下さる主にこそ望みがありますから、祈りに時間を注ぐべきです。「御もとに身を寄せる者」を求めています。

	聖書	問題	答え
日	詩編 33:1-22	人の心を全て造られた主は、彼らの業をことごとくどうされますか。	
月	34:1-23	主の恵深さを、どうすべきですか。	
火	35:1-28	私の魂は主によって喜び踊り、何を喜び楽しめますか。	
水	36:1-13	どんな泉は主にありますか。	
木	37:1-40	主は人の何を定め、御旨にかなう道を備えてくださいますか。	
金	38:1-23	あなたの何は私を射抜きますか。	
土	39:1-14	与えられたこの生涯は僅か、何ほどのものですか。	
			感想と祈りの課題

